

## 日本スポーツマスターズ2022サッカー競技中国予選会競技上の留意事項

- 1 各チームは、初戦開始90分前までに、競技場に到着することとし、到着後、その旨を大会本部役員に連絡すること。  
その際、大会プログラム、メンバー提出用紙・交代カード（各試合分）を受け取り、ミーティングの場所を確認すること。
- 2 各試合開始40分前に、両チーム監督（不在の場合は監督代行）、主審、運営担当者の出席により、ミーティングを開催する。  
チームの監督はメンバー表（チーム用1部・相手チーム用1部・本部用2部の計4部）、電子登録証を出力した用紙、フィールドプレイヤー及びゴールキーパーのユニフォーム（（公財）日本サッカー協会の「ユニフォーム規定」に基づいた、参加申込書に記載した正副2組のシャツ・ショーツ及びソックス）を持参すること。
- 3 競技者は、キックオフ5分前に本部前に集合し、審判員に用具の点検を受ける。
- 4 競技者が負傷して主審が競技を停止した場合、主審の承認を得てからチームの医療担当者2名のみがフィールドに入ることができる。その医療担当者は、負傷の程度を判断することと、負傷者のフィールドからの搬出を手配するだけに入るので、フィールド内の治療は認められない。ただし、「競技規則第5条 負傷の例外」に記載されている事象については、フィールド内での治療が認められる。
- 5 交代によって退く競技者は、主審の承認を得た後、近くの境界線からフィールドの外に出る。交代要員は、退く競技者がフィールドの外に出た後、試合の停止中に主審の承認を得てハーフウェイラインのところよりフィールドに入る。
- 6 飲水ボトルの共用を回避するためWBG Tの数値に関係なく飲水タイムを実施する。
- 7 交代要員のウォーミングアップは、競技場ごとに指定された場所にてフィールド上の競技者と異なる色の服装（ビブス着用等）で、原則としてボールを使用しないで行う。
- 8 ベンチに入ることができるのは、試合開始前に氏名の届けられた役員最大6名、交代要員最大9名に限られる。交代要員は試合中の選手のユニフォームと異なる色のビブスを着用すること。
- 9 本大会にはテクニカルエリアを設ける。その都度1人の役員のみが選手へ戦術的指示を与えることができる。テクニカルエリア内では、責任ある態度で行動をすること。特にベンチから選手に対して反スポーツ的なプレーを増長するような言動や、審判の判定に対して不服、又は誹謗するような行為は、厳に慎むこと。
- 10 やむを得ない事由により試合開始が予定より遅れる場合は、大会本部の指示に従うこと。

### 【運営上の注意事項】

- 1 会場でのアップ場所・開始時間等（ピッチ内練習含む）は、当日、会場役員に確認し指示に従うこと。また、会場によってはスパイクの使用が禁止の場所もあるので、必ずアップシューズを持参すること。
- 2 各会場での練習場所（ウォーミングアップなど）については、会場役員の指示に従うこと。
- 3 更衣室・シャワー等の使用は、原則、禁止とする。